

真っ赤な橋が夢をつないだ、  
日本初の長大吊橋

# 若戸大橋



ライトアップされた若戸大橋

かつて「東洋一の夢の吊橋」と呼ばれた若戸大橋は1962年(昭和37年)に完成した日本初の長大吊橋であり、全長2.1kmのうち吊橋部は627mで、高さ84mの主塔2本により支えられている。

洞海湾という日本の工業を支える港に出入りする大型貨物船が通過できるように満潮時の桁下の高さが40mになっており、自動車で通過するとその急傾斜の上昇・下降体験はかなりダイナミックなものである。

橋上からは北九州の主要な景観要素である皿倉山や足立山、戸畑・小倉・八幡の工場群を眺めることができ、若松方向に夕刻走ると、夕日に輝く洞海湾が美しい。

若戸大橋は1964年の東京オリンピックの主要会場の一つであった丹下健三設計の国立代々木競技場の設計・建築の参考事例とされ、国家的イベントに貢献した重要な建造物であることは北九州市民の誇りである。

(赤川 貴雄)



くきのうみ花火の祭典



橋脚

48 若戸大橋 | 所在地/戸畑区川代~若松区本町 竣工/1962年 設計/旧日本道路公団



スタートハウス



内観

南棟

49 門司ゴルフ倶楽部クラブハウス | 所在地/門司区大字吉志 175 竣工/1960年 設計/アントニン・レーモンド



53 安川電機歴史館(安川電機旧本社事務所講堂)  
所在地/八幡西区黒崎城石 2-1  
竣工/1954年 設計/アントニン・レーモンド  
※写真提供: 株式会社安川電機



54 東田第一高炉跡  
所在地/八幡東区東田 2-3-12  
竣工/1962年 設計/八幡製鐵所



50 ホーム・リング商会  
所在地/門司区港町 9-9 竣工/1962年 設計/不詳



51 世界平和パゴダ  
所在地/門司区大字門司 3251-4  
竣工/1958年 設計/不詳



52 都市モノレール小倉線  
所在地/小倉北区・小倉南区 竣工/1985年



55 八幡駅前通り | 所在地/八幡東区西本町他

## 磯崎新氏による建築群 *Buildings designed by Isozaki Arata*

プリツカー賞とは、「建築界のノーベル賞」とも呼ばれる最も権威のある建築賞である。北九州市内には2019年にこの賞を受賞した磯崎新氏の設計した4つの公共建築がある。

「北九州市立中央図書館・文学館」は、勝山公園のなだらかな傾斜地に位置する。ヴォールト屋根が作り出す静謐な内部空間に加え、小倉城に向かう軸線を強調した配置構成が特徴的だ。「北九州市立美術館」は、洞海湾まで一望する鞘ヶ谷の丘の上に位置する。2本の四角い筒が丘から突き出したようなダイナミックな構成が特徴的だ。両建築は磯崎氏の初期の代表作とされ、その力強い空間性から『図書館戦争』をはじめとする映画の舞台ともなっている。

「西日本総合展示場」は小倉駅北側のかつての中央卸売市場跡地に建つ。帆船を思わせる斜め張りロープを支えるマストの列が、臨港地帯特有の風景に呼応している。隣に建つ「北九州国際会議場」は、波打つ屋根形状と柔らかな色彩が海辺に独特な彩りをもたらしている。

(三笠 友洋)

56 北九州市立美術館 本館、アネックス  
所在地/戸畑区西鞘ヶ谷町 21-1  
竣工/本館:1974年  
アネックス:1986年  
設計/株式会社磯崎新アトリエ



文学館 内観



中央図書館・文学館 外観

57 北九州市立中央図書館・文学館  
所在地/小倉北区内 4-1  
竣工/1974年 設計/株式会社磯崎新アトリエ



美術館 内観



アネックス

# 村野藤吾氏による建築群 *Buildings designed by Murano Togo*



58 西日本総合展示場 所在地/小倉北区浅野 3-7-1 竣工/1977年 設計/株式会社磯崎新アトリエ



60 福岡ひびき信用金庫本店(旧北九州八幡信用金庫) 所在地/八幡東区尾倉 2-8-1 竣工/1971年 設計/村野藤吾



59 北九州国際会議場 所在地/小倉北区浅野 3-9-30 竣工/1990年 設計/株式会社磯崎新アトリエ



61 旧八幡市民会館 所在地/八幡東区尾倉 2-6-5 竣工/1958年 設計/村野・森建築事務所